

2026年2月吉日
生活協同組合コープさっぽろ
広報部

「Systematic Innovation Management Award」において コープさっぽろが「グッドイノベーション グランド賞」を受賞

生活協同組合コープさっぽろ（以下、コープさっぽろ）では、経営者イノベーション委員会（EIC）が主催する第1回「Systematic Innovation Management Award（SIMA／グッドイノベーション賞）」において、グランド賞を受賞しました。2026年2月3日（火）に東京都千代田区の日比谷国際ビルコンファレンススクエアで授賞式が行われました。

本賞は、EICが提唱する「Systematic Innovation Management（システムティック・イノベーション・マネジメント）」の考え方に基づき、企業・組織のイノベーション経営を総合的に評価するもので、「社会への貢献・共感性」「組織としての創造能力や組織文化」「価値創出が持続する経営システム」の3つの評価軸から審査が行われます。「何を成し遂げたか」よりも、「どうすれば価値が生まれ続けるか」を問い合わせ続ける経営の姿勢そのものを讃えます。短期的な成果や単発の技術革新ではなく、「イノベーション経営の仕組み＝イノベーション・マネジメントシステム」に着目して、その実践を発見し、体系的に評価・顕彰されます。

今回ノミネート企業23社の中から受賞者が選出され、コープさっぽろは北海道全域の生活課題を経営課題として捉え、流通・製造・リサイクルを一体化した循環型基盤を構築してきた点が高く評価されました。

今後もコープさっぽろの理念である「北海道で生きることを誇りと喜びに」を実現できるよう、様々な取り組みを行ってまいります。



2月3日に行われた授賞式の様子

■SIMA:システムティックイノベーション(GOOD INNOVATION)賞について

本賞は、EIC委員会(事務局:株式会社東急総合研究所・株式会社毎日新聞社・一般社団法人Japan Innovation Network Chairperson)が企画実施する新たな経営賞です。イノベーションの「結果」だけでなく、その背後にある「力」に着目し、優れた事例を発見・学習・普及させることを目的としています。

評価の軸となるのは、以下の3つの要素です:

- ① 社会への共感力 — 社会課題や顧客ニーズへの深い理解
 - ② 組織能力・文化 — イノベーションを実現する組織の実行力と変革力
 - ③ システミックなアプローチ — 再現可能な仕組みとしての革新手法
- これらの組み合わせによって、これまで十分に評価されてこなかった潜在的価値を持つケースを発掘します。本賞を通じて、シリコンバレーなど他地域とは異なる、日本独自のイノベーション経営モデルを世界に発信していきます。



【報道関係のお問合せ先】

生活協同組合コープさっぽろ 広報部 広報メディアグループ 森ゆかり・前田楓華
〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10-1 TEL 050-1741-5516(平日9時~18時)